



# ちば「炎の仲間」

**発行**  
 一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会  
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1  
 TEL 043-246-1725  
 FAX 043-243-6781  
 E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp  
 http://www.chibalpg.or.jp  
 毎月10日は保安の日

## 謹賀新年



【写真提供：鶴沢宜広氏】

### 新年を迎えて



片岡 勝美  
筆頭副会長  
総務委員会  
担当副会長



小倉 晴夫  
協会委員長  
相談所委員長

新年明けましておめでとうございます。  
 会員の皆様には、お健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。年頭に当たり一言、ご挨拶を申し上げます。  
 2022年、壬寅(みずのえとら)年は、厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎の年となるイメージのようです。  
 当協会は千葉県の認定を受け、4月1日から公益社団法人千葉県LPガス協会として事業を行う予定です。当協会は、県民福祉の向上に寄与することを目的として、エネルギーの安定供給を通じて従来にも増して地域社会の健全な発展に寄与する事業を行うこととなります。我々を取り巻く社会情勢は、コロナ禍が過ぎ、新しい生活様式にも慣れてきましたが、2050年カーボンニュートラルという途轍もない壁ができ

ております。当協会では「三方よし」を理念としてこれらの壁を登り、避け、工夫しながら最終的には突き破ることのできる事業展開をする年にしたいと考えています。この事業展開には、会員各位のご理解とご協力無しには実現しえないと考えておりますので、皆様方の叡智をこれまでに増してお寄せいただきますようお願い致します。  
 協会では、各委員会が協会事業を分担し実施していますが、公益事業と共益事業が混在する中であっても委員会同士が意思疎通を図りながら協力して協会運営を実施して参りますので、関係各位のより一層のご支援・ご協力を賜りますよう、宜しく申し上げます。  
 結びに、皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

監事	理事	支部長	専務理事 業務執行理事	副会長	相談役	謹んで会員皆様のご発展とご健勝を 祈念いたします
佐伯 一洋 石川 陽平 島田 隆二 高橋 二丸 高見 一三 合谷 賢一 小林 浩三 伊能 康和 日向 伸篤 吉野 篤平 安部 一泰 渡邊 秀一 東島 藤一 平土 倉水 白藤 田木 安藤 佳聖 高木 清正 板倉 正博 泉 幸秀 笹木 榮一 鈴味 塚裕 五木 隆一 君塚 順一 小坂 啓一 飯野 樹之 野口 則之 鶴岡 則之 片岡 誠男 金野 則之 染村 則之 鈴木 則之 中谷 則之 武島 則之 木内 則之 安野 則之 池田 則之 秋元 則之 藤森 則之 木原 則之 足達 則之 石井 則之 青木 則之 嶋井 則之 片岡 則之 小倉 則之 横山 則之						

業界最新情報は協会HPの活動便りから！

## 新年の御挨拶



千葉県  
防災危機管理部長  
生稲 芳博

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

貴協会には、日頃より液化石油ガス災害防止機器等普及啓発事業や販売事業者に対する保安講習会などを行っていただいているとともに、災害対策基本法等に係る指定地方公共機関として、本県の災害対策の一翼を担っていただいているなど、本県の液化石油ガス保安行政の推進に多大な御協力を賜り、深く感謝いたします。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防

止と社会経済活動維持の両立に向け、御理解と御協力をいただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

さて、政府の「産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会液化石油ガス小委員会」では、2020年を目標年度として実施してきた「保安対策指針」に代わり、今後10年間を見据えた総合的なガスの保安対策として、「液化石油ガス安全高度化計画2030」を策定したところです。

その中で、2030年の死亡事故ゼロに向け、国、都道府県、第三者機関、LPガス事業者、消費者及び関係事業者等が、各々の果たすべき役割を着実に実行するとともに、環境変化を踏まえ迅速に対応することで、安全・安心な社会を実現するという目標が掲げられています。

また、本計画の実行計画（アクションプラン）として4つの項目が挙げられています。「消費者起因事故対策」としてCO中毒

事故防止対策やガス漏えい事故防止対策を実施していただくこと、「販売事業者起因事故対策」として供給管・調整器などの設備対策を実施していただくこと、「自然災害対策」として地震・水害・雪害対策を実施していただくこと、「保安基盤の整備」として保安管理体制を構築し、スマート保安の推進を図っていただくこととあります。

液化石油ガス販売事業者の皆様におかれましては、これらの点についてご理解いただき、より一層、事故防止対策に取り組んでいただけるようお願いいたします。

県としましても、安全で安心な千葉県の構築のため、引き続き皆様の活動を支援してまいりますので、よろしく願いいたします。

結びに、貴協会と会員の皆様の益々の御発展をお祈り申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 社会貢献と事業継続



池田 愛一郎  
総務委員会  
委員長



石井 誠一  
総務委員会  
ロードマップ作成  
WG委員長

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

総務委員会では、協会運営の全てに関する事業を行っています。LPガスの安定供

給に必要な講習会事業や国家試験事業を実施しており、コロナ禍のため受講人数を制限するなど感染対策に十分注意しながら実施しています。昨年（令和3年）の国家試験では、約2,800名が受験し、前年より約600名増加しました。なお、各種講習会は令和4年度からオンライン化が順次始まります。設備士再講習や業務主任者などの義務講習もオンライン化の対象です。

また、災害対策への取り組みも重要です。昨年GHPと非常用発電機の普及啓発のため、行政向けの説明会を実施し、その後、行政への働き掛けについて会員の皆様向けに説明会も行いました。いつ災害が発生するか分かりませんので、避難所等の災害時に拠点となりうる重要施設にはLPガスGHP及び非常用発電機の導入できるよう働きかけをお願いいたします。

最後に、**社会貢献と事業継続**を目的にし

た「ロードマップ事業」ですが、昨年は「女性視点マーケティング」の内容でセミナーを開催しました。今年もロードマップ事業としてセミナー開催を予定しています。テーマは、「業態転換」です。コロナ禍の経験から社会情勢が激変している状況からLPガスだけでなく業態転換を視野に入れることが必要となってきます。

今後も会員の皆様の事業に役立つ各種セミナー等を実施していきます。特に前述しました講習会のオンライン化への対応が必要になりますので、まずはメールアドレスを登録し、WEBセミナーへの参加にチャレンジしてみましょう。

今後とも会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

本年も会員の皆様の事業のますますの御発展と御健勝ご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 協会ホームページで最新情報をチェック！



鵜沼 隆  
広報委員会  
委員長



木内 正義  
広報委員会  
委員長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。

さて、ロードマップを作成してから2年半が過ぎ、その間の我らを取り巻く情勢は

大きく変化しました。環境問題や新型コロナウイルスによる人々の分断などで、更に変化は加速されていくことと予想されます。先進国の中でデジタル化が遅れていると言われていたことから、国はデジタル庁を設置、脱印鑑、ペーパーレス化に大きく舵を切りました。今までの常識が常識でなくなる。そんな中、事業を行うことは大変ではありますが、その方針に付いていき、会社を、業界を守っていかねばなりません。広報委員会といたしましては、地元を支え奮闘する皆様にタイムリーに役立つ情報をお届けすべく今年も頑張っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

紙からデジタルにすることで、皆様にお伝えできる情報量も大きく、タイムリーになり、経費も抑えられることから、当協会におきましても会員の皆様にメール登録を

お願いしてきました。現在メール登録は会員の約7割になりました。そして炎の仲間など、今まで郵便でお届けしていたものをデジタル配信で受けている会員さんも約3割になりました。現在の協会ホームページでは、行政の動向、全国LPガス協会からのお知らせ、講習会の日程など必要な書類をダウンロードして取得することができ、有用な情報で充実しております。是非、定期的にチェックして頂き、皆様の業務に役立てて頂ければ幸いです。未だ新型コロナは終息せず、ガス価格の高騰や器具の生産遅延などが続き、やりにくい世の中ではありますが、ピンチをチャンスと捉え、環境に優しいLPガスを届けて参りましょう。

結びに、皆様の事業の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

## 保安の確保に一步一步



安野 晃造  
保安委員会  
委員長



青木 秀夫  
保安委員会  
担当副会長

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当協会の災害対策マニュアルには、LPガス供給設備の災害対策として次の3点を明記しています。

### ①ガス放出防止器又はガス放出防止型高圧ホースの導入

### ②容器ベルト（又は鎖）の2重掛けの徹底

### ③底部腐食防止措置の推進

近年災害発生が頻発していますので、災害対策への取り組みは平時から計画的に実施する必要があります。当協会としては、上記①に対し、**ガス放出防止機器等の100%設置目標期限を2022年11月末日と定め**、会員の皆様とともに目標達成に向け取り組んでおります。令和2年度の実態調査では、71.7%でした。今後も千葉県内の一般消費者への被害を無くせるよう会員の皆様とともに、また、二次災害防止のための災害対策にご協力くださいますようお願いいたします。

また、上記②については、昨年12月1日より液石法施行規則及び機能性基準の運用について一部改正が行われ、洪水浸水想定区域に該当するLPガス容器の設置先にはベルト等の二重掛けなどの容器流出対策が義務化されました。既存施設への対策には猶予がありますが、新設する際は対応が

必要となっておりますので、まずは協会ホームページより詳細内容をご確認いただき、ご対応をお願いいたします。

最後に、令和4年度は、福島県郡山市での業務用施設での爆発事故を受け、全L協と同様、次の3項目を重点取り組み事項としました。

1. 業務用施設警報器連動の推進
2. 業務用喚起警報器の促進
3. 軒先容器の流出防止対策の徹底

あらためて、事故の恐ろしさと事故による社会的影響の大きさを考え、会員の皆様とともに、事故の無い、一般消費者が安心できるよう取り組んでいきたいと思っております。また、昨年県立高等学校等施設の老朽化対策事業を実施し、供給事業者の皆様へ調査を行い現在集計中となりますが、上記と併せ、保安活動を実施していきます。

日頃の業務で皆様お忙しいと思いますが、一步一步設備を改善し、保安の確保にご協力くださいますようお願いいたします。

## 地域社会の“見守り隊”



秋元 利文  
取引適正化  
委員会委員長



足達 光夫  
取引適正化  
委員会  
担当副会長

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、コロナ禍で会社・個人とも大変な日々をお過ごしかと思います。

さて、本年（令和4年）より都市ガス大手3社（東京ガス、大阪ガス、東邦ガス）

は導管部門の法的分離が義務付けられ、益々自由化の流れが進むと考えられます。

一都三県協会（千葉県協会、東京都協会、埼玉県協会、神奈川県協会）では東京ガスとの協定更改に向けて交渉を継続しております。保安引継業務立会費は難しい状況ですが、同じガス体エネルギーを扱う事業者として消費者の方々に安心してもらえるよう、将来を見据えた議論を今後進められたらと思っております。

なお、令和4年度の協会事業に新たな事業として、①見守り・見回り事業、②協会主催のイベント事業を追加しております。

取引適正化委員会としては、日々の検針や配送業務等にて地元地域の「見守り隊」として、地元行政と連携して犯罪防止等によって、地域社会の健全な発展に寄与することを目的としております。

また、協会主催のイベント事業について

は不特定多数の方に、LPガスの特性を理解して頂き、最新のガス関連機器の安全性能及び、お客様の住空間が快適になることをPRしていきます。各種啓発活動によってLPガスの事故防止や災害対策に繋げていくことを目的とし、ガス外収益に繋げられるようPRしていきます。開催方法は今後検討しますが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みてWEB展示会なども含めて検討を進めてまいります。さらには、環境対策にも取り組む必要があります。LPガス業界としてどのように環境問題へ取り組んでいくか、会員の皆様と共に議論し、対応していきたいと思っております。

保安を確立した上で、如何にLPガスの販売を伸ばしていくか。FRP容器を活用した販売促進、市区町村等へのGHP設置促進など、協力して邁進していきましょう。

本年も宜しく願い致します。

## スタンドを最後の砦に



泉水 栄二  
スタンド委員会  
委員長

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年になりました。今年こそ収束し以前のような賑わいを取り戻して欲しいと願っております。

先般、脱炭素社会の宣言が出され会員の皆様方も大きな影響を受ける事は避けられ

ません。2030年迄に削減目標が課され、タクシー車両はどうなるのかが問題です。現在ジャパンタクシーの販売累計が2万5千台を超えましたが、環境性能に優れているため2030年度削減目標値に対応しており、電気EVや水素FCVのタクシー専用車両の発売は当面行わないと自動車メーカーが指針を示しております。ここで注目したいのがライフサイクルアセスメントです。例えば、自動車ですと開発から原材料の調達、製造、加工組立等をして流通し販売され、そして納車され走行します。走行するには燃料を燃焼し排気ガスを排出します。メンテナンスや車検点検をして廃棄しリサイクルされるわけです。現在は排気ガスからCO2が出るか出ないかが表されていますが、ライフサイクル全体を見渡

して計算すると結果はかなり変わって来ます。水素も需要が増えると電気分解して水素を作り出します。ですから電気が不可欠ですので発電を考えますと、日本では未だに石炭発電が全体の25%以上あります。火力発電としての括りでは全体の75%程度を占めております。一部の表舞台ばかり目にしますが、全体で見渡してカーボンニュートラルとは、と考えて行く必要があります。またエネルギー基本計画でもLPガスは最後の砦、重要なエネルギーと位置付けられております。安全性や環境性能全般で判断するとLPガスはとても優秀なエネルギーですので今後も末永く利用されるでしょう。

結びに、皆様方の商売繁盛とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

## 消費者の相談へ対応



木原 明  
相談所委員会  
担当副会長

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、当相談所委員会は昭和63年より相談所を全国に先駆け開設し、平成元年か

ら経済産業省・資源エネルギー庁の補助事業として協会事務局内にお客様相談所を設置し、一般消費者からの電話やメールなどによるLPガス全般の苦情及び相談への対応並びに当該内容に対する液化石油ガス事業者への指導並びに支援事業を実施しております。

相談内容としては、ガス料金の価格、支払方法、不要になった容器の処理方法など、多岐にわたります。これらの相談内容をもとに、小倉会長、弁護士、県産業保安課、県消費者センターなどと共に消費者からの相談内容を共有し、今後も適切かつ円滑に

各種相談内容へ対処していくことを議論しています。

また、年に2回、読売新聞に広告を掲載し、相談所の開設を広くPRしており、今後も消費者にLPガスを安心・安全に使用していただけるよう努めて参ります。

なお、協会ホームページ上に、販売店一覧を掲載しています。各販売店の皆様で自社のホームページをお持ちの方はリンクさせていただいておりますので、リンクをご希望の方はご連絡下さい。

結びに、皆様のご健勝とご発展を御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 安定供給の拠点に



小林 賢一  
中核充填所  
委員会委員長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災から今年で11年が経過します。東日本大震災において石油備蓄法が充分に機能できなかったことから、翌年9月の

同法改正により、災害時にも稼働できる地

域の中核となる充填所を全国に343ヶ所整備しました。この災害時対応中核充填所は、当県においては9ヶ所が指定されています。

当委員会では、9中核充填所が災害時の供給拠点となることを期待し、設立当初から地元支部は勿論のこと、行政、消防、警察や地域住民とも連携して、毎年9月に「LPガス等合同防災訓練（中核充填所稼働訓練）」を実施してきました。

しかしながら、昨年度、今年度は新型コロナウイルスの影響で、極力外部からの来客、及び密集状態を避けるため、従来のような担当中核充填所に駆け付けての訓練は控えることとしました。その代わりに、各

中核充填所において非常用発電機稼働訓練、衛星電話による通信訓練他、独自に工夫を凝らした訓練を実施いただき、第2回の中核充填所委員会においてご報告いただくこととなりました。

いつ訪れるか分からない災害対応に備え個々の中核充填所の意識や行動レベルの向上と情報共有やスムーズな連携、各自治体への認知度の向上に努め、「災害時のエネルギー供給の最後の砦」の役割を果たせるよう運営して参りたいと考えております。

皆様方の安全とご健勝をご祈念申し上げますとともに当委員会へのご理解、ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 地域に愛される 総合エネルギー企業



高見 陽二  
青年委員会  
委員長

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から当委員会の活動に対しご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

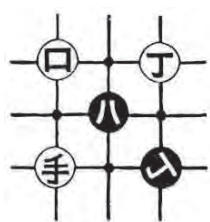
新型コロナウイルスは新たな変異株が発生し、まだまだ不安な日々が続いておりますが、我々LPガス事業者は、地域の生活を支えており、エネルギーの安定供給を継続しなければならない状況です。

コロナ禍の影響もあり環境が激変している状況から、如何に我々の事業を継続させるかが重要となっており、当委員会ではガス外収益を模索するための勉強会をWEB形式にて開催しております。

また火育活動の「炎の出前教室」はコロナ禍で開催ができておりませんが、実施方法の見直しを進め、学校からの要望に迅速

に対応できるよう検討を進めております。

さらに、社会貢献を目的とした「廃棄ガスメーター回収運動」ですが、回収の見直しの観点から回収業者の見直しを進め、複数の業者の中から新たに「こだまのいえ」を当委員会活動の回収業者に決定しました。今後も県内各拠点及び協会への回収依頼のあった事業所から廃棄ガスメーターを回収し、実効性のある寄付による社会貢献活動を実施して参りますので、今後とも当委員会活動にご理解ご協力を賜りますようお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。



飼い犬の「ダン」(イングリッシュセッター)が、突然全身に麻痺を起こし倒れこんで動けなくなってしまいました。ダンは92歳になる父が猟犬として飼っておりましたが狩猟を引退してからは、専ら父の散歩のお供係と番犬としての役割を果たしてくれている家族の一員です。

十日前に、犬小屋の中で「クーン、クーン。」といつもとは違う弱々しい鳴き声だったので気になり覗いてみると、四肢が硬直して首から下が全く動かさなくなっておりぐったりして瀕死の状態でした。あまりに

突然だったので大変驚き動揺しましたが、すぐに動物病院に連れていき診察してもらいました。獣医の先生も原因は分からず、2~3日様子を見てもこのままの状態だと早めの「安楽死」も選択の一つだとしてもショッキングな言葉を受け、酷く落ち込みましたが、注射の接種と薬をもらい、父と話し合い「最後まで出来る限りの事をしてやろう。」と決めました。

それから数日、体を清潔にし、床ずれをしないように体を入れ替え、日光に当てる等の介護をし、少しずつですが水も飲み餌も食べ排泄もするようになり、何とか瀕死の状況から抜け出せました。

六日目、奇跡が起きました。硬直してい

た前脚が曲がるようになり、伏せの状態の態勢を取れるようになったのです。餌も自力で取れるようになり、吠え方もだいたい張りのある声になりました。まだ後ろ脚は動きませんがこのままもう少し時間がたてば、立てるようになるかもしれないという希望の光が見えてきました。当たり前ですが、ペットを飼う責任として何とか立てるようになるまで引き続き手厚く介助していこうと思っております。

命というのは、物凄く逞しいものですね。あの時早い決断をせずに本当に良かった。動物といえども、命は尊く重いものです。

木内 正義 記

**空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！**